



浸水継続時間 (五十鈴川派川及び松下川) について

1. 説明文
- (1)この図は、宮川水系五十鈴川派川及び松下川について、浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2)この浸水継続時間は公表時点の五十鈴川派川及び松下川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により五十鈴川派川及び松下川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。ので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
2. 基本事項等
- (1)作成主体 : 三重県
 - (2)指定年月日 : 令和元年6月11日
 - (3)対象となる河川
 宮川水系五十鈴川派川(検討対象区間)
 左岸:五十鈴川分派地点から海まで
 右岸:五十鈴川分派地点から海まで
 宮川水系松下川(検討対象区間)
 左岸:三重県伊勢市松下から五十鈴川派川合流点まで
 右岸:三重県伊勢市松下から五十鈴川派川合流点まで
 - (4)指定の前提となる降雨
 五十鈴川、松下川流域の24時間総雨量 1089mm
 - (5)関係市町村 : 伊勢市
 - (6)その他計算条件等
- ①この図は、五十鈴川派川及び松下川の県管理区間で破壊した場合の浸水継続時間を図示しています。
 - ②この図は、五十鈴川派川及び松下川において、一定の条件で破壊等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破壊地点は、県管理区間の0.0kmから4.6km地点において想定したものです。
 - ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
 - ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。